



ADRC Highlights

Vol.134

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

March 1, 2006

➤ **キルギスとの共同プロジェクトを実施**
□ **同国首都ビシュケクなど2都市で住民防災能力向上セミナーを開催**

キルギスタン共和国非常事態省およびアジア防災センター(ADRC)は、2006年2月6日に同国首都のビシュケクにて、また翌7日にはオシュにて、共同防災プロジェクト「キルギス国民向け防災能力向上セミナー」を実施いたしました。このプロジェクトの目的は(1)防災意識の向上、(2)災害関連知識と技術の普及、(3)包括的災害対策の日常生活への活用、の3つで、セミナーに先立ち、同国非常事態省により(a)住民向け小冊子、(b)ハザードマップ作成方法の手引き、(c)防災研修の手引き、(d)行動計画、(e)行政区分地図の、ロシア語の普及版および英語版(一部)が作成されました。

セミナーは、オシュではアイダラリエフ非常事態省第一副大臣から、またビシュケクではカムチベコフ同省副大臣からの挨拶により開会



しました。当センターからは、所長の北本および主任研究員の角崎が出席、代表挨拶の中で所長の北本は、このようなセミナーがキルギス政府との協力で開催された意義や、包括的な防災教育関連冊子が多種作成されたこと、またこうした冊子・教材を有効に活用してこそ個々の防災能力向上につながることにについて述べました。続いて角崎より発表があり、キルギスタンでも活用が可能な「総合的防災政策(TDRM手法)」について紹介を行いました。その後、当センター元客員研究員であり、現在はタジキスタン非常事態・市民防衛省に所属するディロロ・ミロバ氏が発表し、隣国タジキスタンでのノウハウならびにADRCでの経験を踏まえて、キルギスタンへの防災に関する提言を行いました。

今回作成された教材については、キルギスタン非常事態省の非常事態監視予測・鉦山部より紹介・説明がありました。災害発生地域に住まざるをえない同国民の防災能力向上に向けて、非常事態省では今後ともこれらの教材を幅広く配布することにしていますが、当センターとしても同国における防災知識の向上・普及に引き続き努めたいと思います。

このセミナーおよび教材についてのお問合せは、キルギスタン非常事態省シェイシェナリー・ウスパエフ氏 (monit_dep@meed.bishkek.gov.kg)、タジキスタン非常事態省ディロロ・ミロバ氏 (diloro.mirova@undp.org)、もしくは当センターの角崎 (tsunozaki@adrc.or.jp) までお願いします(角崎のみ日本語対応可)。

➤ **「アジア防災会議 2006」がいよいよ開催**
□ **兵庫行動枠組の戦略的目標の実現に向けて議論**

2006年3月15~17日、韓国政府のご協力により、韓国のソウルにて、アジア防災会議 2006 が開催されます。この会議の主催者は、国連国際防災戦略(UN/ISDR)事務局、日本政府(内閣府)、韓国政府、アジア防災センター(ADRC)、世界気象機関(WMO)、国連人道問題調整事務所(UN/OCHA)、国連開発計画(UNDP)で、アジア防災センターメンバー国 25カ国の政府防災関係者、国連諸機関の職員、防災専門家などから 120名以上の参加が見込まれます。

この会議では、アジア地域における災害の被害軽減のための取組みの成果と課題を総括するとともに、2005年1月に兵庫県神戸市で開催した「国連防災世界会議」において採択された「兵庫行動枠組(HFA)2005-2015」についてアジア各国の実施状況や推進のためのツール等を議論することとしています。

同会議については、当センターHP (<http://web.adrc.or.jp/acdr2006seoul/index.html>、英語)でも詳細をご確認いただけます。

➤ **アジア最新災害情報**
□ **フィリピンでの土砂災害**

2006年2月17日、フィリピン南東部の南レイテ州でかねてより降り続いた大雨により地すべりが発生、同州にある村全体が飲み込まれました。フィリピン政府国家災害調整委員会(NDCC)が、2006年2月28日付でまとめた被害状況報告によると、139人の遺体が回収されたほか、980人が行方不明となっています。

アジア防災センターでは、元客員研究員であり、現在はフィリピン政府内務自治省(DILG)に所属するマリア・ゴー氏を通じて、この災害についての最新情報を入手しています。

NDCCのレポートを含め、災害の詳細については、当センターホームページの最新災害情報 <http://www.adrc.or.jp> をご覧ください。GLIDE番号は、MS-2006-000026-PHLです。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by: **Asian Disaster Reduction Center (ADRC)**

Hitomiraikan 5F, 1-5-2 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone: +81-78-262-5540